



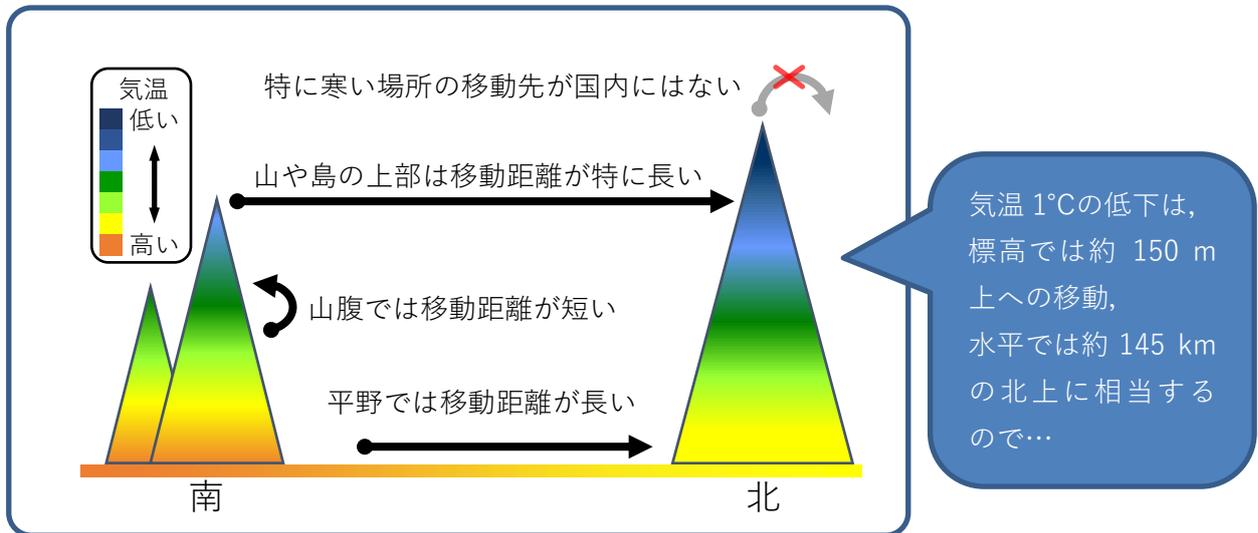
長野県環境保全研究所などの研究グループは、 温暖化で高山生態系の行き場がなくなる恐れがあることを 科学論文として発表します。

長野県環境保全研究所、森林総合研究所、国立環境研究所、農研機構の研究グループは、「気候変動の速度」を全国で初めて推計しました。この結果は、2019年11月下旬に環境情報科学 学術研究論文集 33巻に掲載されるとともに、11月27日（水曜日）に日大会館（東京都千代田区九段南4丁目8-24）で開催される2019年度環境情報科学研究発表大会で発表されます。

【研究の概要】

- 地球温暖化により野生動植物の生息適地は、より標高の高い地域かより北の地域へと移動することになるが、その移動の距離と速度の指標となる「気候変動の速度」を、全国で初めて推計した。
- その結果、現在のペースで今世紀末まで温暖化が進むと、中部山岳の山頂部を始めとする高山帯では、国内には移動先が見つからない場合があった。
- また、全国平均の「気候変動の速度」は249m/年であり、この速度で移動することは、多くの樹木にとって困難。
- 温室効果ガスの排出削減と、野生動植物の移動の補助や生息域外での保全策を検討する必要がある。

詳細は、別紙（共同プレスリリース資料）をご覧ください。



本研究は、文部科学省「気候変動適応技術社会実装プログラム（SI-CAT）」及び環境省「地域適応コンソーシアム全国運営・調査事業委託業務」、環境再生保全機構 環境研究総合推進費「2-1907 気候変動適応を推進するための情報デザインに関する研究」及び「S-14 気候変動の緩和策と適応策の統合的戦略研究」の支援を受けました。



[長野県は「SDGs 未来都市」です]



環境保全研究所 自然環境部
 (次長) 関澤 実 (担当) 高野 宏平
 TEL 026-239-1031 (代表)
 FAX 026-239-2929
 E-mail kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

環境部 環境政策課 企画経理係
 (課長) 中村宏平 (担当) 神山涼一
 TEL 026-235-7169 (直通)
 026-232-0111 (代表) 内線 2718
 FAX 026-235-7491
 E-mail kankyo@pref.nagano.lg.jp